

9月にキャラバン行動



JAL争議団の全国キャラバンが6月・8月と県労連を中心として県内各地で展開されます。

国労では、全国キャラバンを9月に計画、具体的に日程が決定しました。

秋田地本からスタートし酒田↓新潟↓高崎↓千葉↓北陸↓長野へオルグが展開されます。

秋田地本へ9月7日に入り新潟地本管内では、酒田地区へ9月13日、新潟地区へは17日、19日にオルグが展開されます。

具体的な行動についてはこれから打ち合わせを行います。全組合

NO. 792
発行
13・6月25日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部



JAL 闘争を支援する新潟の会が結成

1月26日に「JAL 闘争を支援する新潟の会」が結成された。JAL 関連組合は、ニュースで「ストライキで飛行機運休」などで知っている程度の存在であった。かつて三公社五現業が民営化される時、当該や大半の組合が積極的に関わろうとしなかった。国鉄闘争も労戦問題も影響し、県平和運動センターが関わらない中で地域から支援組織が結成されていき、県的組織ができるまで数年かかった。

昨年12月に原告団の鈴木圭子さんと全労協の金澤議長が来新され、結成の動きが始まった。高裁の動きなどを考えると、とにかく支援組織を結成し、動きながら組織と運動を広げていこうとなった。

呼びかけ人は、新潟地区労、三条地区労、上越地区労の3議長。1月26日の相談会には、県職労委員長、新潟市職労書記長も参加していただいた。

当面の活動として①お盆までに「支える会」会員3000名達成②物販の協力③裁判闘争の傍聴④新潟の会への入会運動。

代表委員は、山田寿・鶴巻俊樹・牧田正樹の3地区労議長。事務局は新潟地区労内、事務局長は阿部清利（同事務局長）となった。

鈴木さんが来られての職場物販は、3日間で50万円弱が売れ、自治労県本部が支える会に30口入ってくれた。あらためて国鉄闘争の財産を感じる。

短期決戦の決意で、新潟の地でも努力したい。
阿部清利 新潟の会事務局長

「不当解雇とたたかう日本航空労働者を支える会」
通信 第8号 2013年3月号から記載しました。

新潟県ではJAL争議団を支援する組織が二つ発足しています。県労連を中心とした「JAL 争議団支援共闘会議」と地区労が呼びかけて発足して「JAL 闘争を支援する新潟の会」があります。それぞれ、積極的に県内各地の労組・民主団体へ要請行動が展開されています。

新潟で2つの組織が発足

員の結集をお願いします。

客室乗務員の働き方は？

昔から何となく華やかなイメージの職業です。しかし、乗客へのサービス業務の他、もうひとつの重要な仕事は、乗客の命と客室の安全を守る保安要員としての任務です。そのため、飛んでいる間は多様な仕事をこなしています。客室乗務員の仕事は、長年の経験が必要とする専門職なのです。

2011年以降、賃金が約3割ダウン、乗務手当1時間当たり1千円は出来高払いに変更され、入社3年目の契約客室乗務員が正社員になった。でも、手取りは20万円に届きません。その他手当は法定の深夜手当だけでなく、土日（出勤）手当も廃止になりました。特殊な勤務形態や労働環境のため、日常の健康管理に気を使います。機内では風邪や中耳炎になりやすく、腰痛などの労災も多発しています。緊急事態発生時にきちんと対応するために、風邪をひいたり捻挫をしているだけでも、乗務ができず休まざるを得ません。また、完治しないと乗務に戻ることができません。



JAL不当解雇・全国キャラバン (東北・北陸/日本海ルート)

日程表

- 9月7日 (土) 秋田市内 国労秋田地本定期大会
- 9月8日 (日) 青森県弘前市へ移動 (移動中、宣伝行動)
- 9月9日 (月) 弘前市内～大館市内
- 9月10日 (火) 秋田市内
- 9月11日 (水) 横手市内
- 9月12日 (木) 客室乗務員控訴審第4回期日 (証人尋問)

- 9月13日 (金) 新潟地本引継ぎ～酒田地区
- 9月17日 (火) ～19日 (木) 新潟地本管内
- 9月20日 (金) パイロット控訴審第4回期日 (証人尋問) =仮の日程
- 9月24日 (火) ～高崎地本管内・千葉地本管内へ

- 10月1日 (火) ～北陸地本管内
福井県・石川県・富山県



全ての労働者の結集を

9月の全国キャラバンの日程が決定しました。9月の行動は国労が中心になって支援・要請行動を実施します。新潟での具体的な内容はこれから議論していきたいと思えます。

新潟県には、JAL争議団を支援する組織が二つ発足しています。9月の行動では、全ての労働組合・民主団体へ要請行動を展開するため準備を進めています。

そして、JAL争議団・新潟県内で闘っている争議団、労働組合を結集した決起集会の開催も企画していきたいと考えています。

多くの組合員のご支援・ご協力をお願いします。



JAL争議団では、全国キャラバンを展開し各地の労働組合・民主団体へ物販・カンパの訴えなど支援要請を展開しています。

高裁の状況ですが、年内結審で年度内に判決が出される見込みです。そのことから、これから年内にかけての取り組みが重要となってきます。9月のキャラバン行動を、ひとり一人の力を結集して成功させましょう。

ふるさと

6月が半ばになりましたが、なかなかまとまった雨が降りません。気温が異常に上昇し新潟県内でも気温が30度を超える日がありました。35度を超える地域があったようです。熱中症に気をつけましょう。

7月・8月と定期大会が開催されます。そして、来月は参議院選挙が実施されます。

日々の活動が忙しくなりますが身体に気をつけてください。疲れた時はやっぱり晩酌でエネルギー充電ですね。

